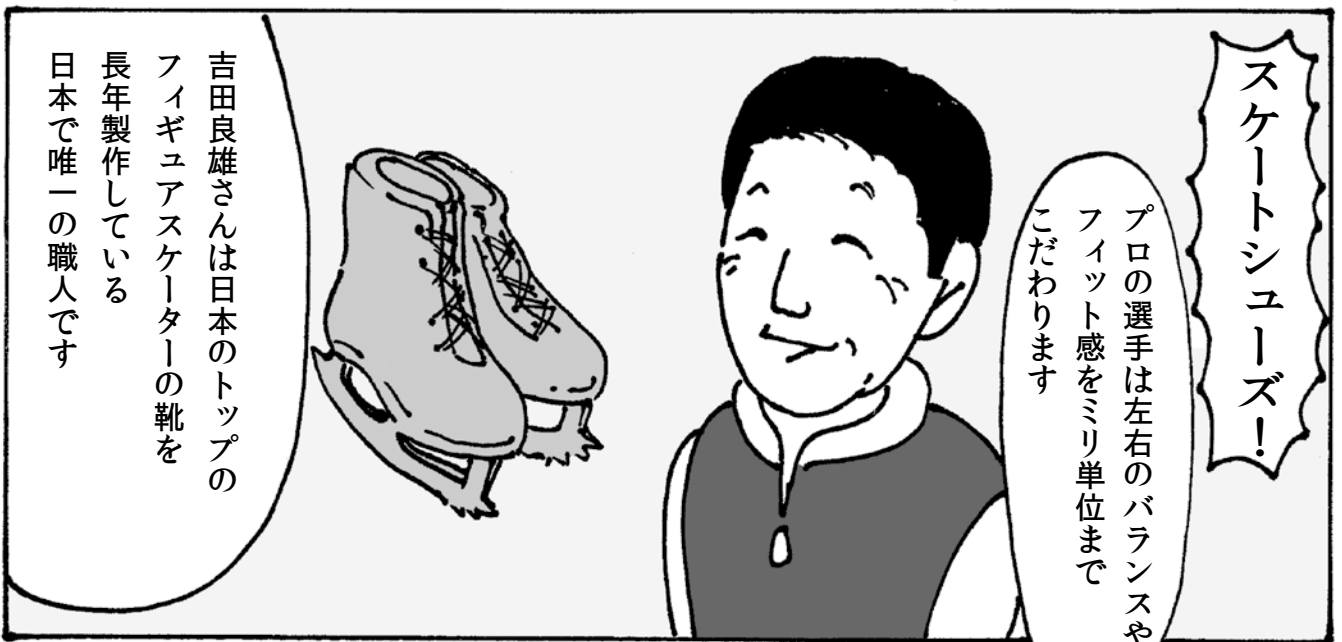
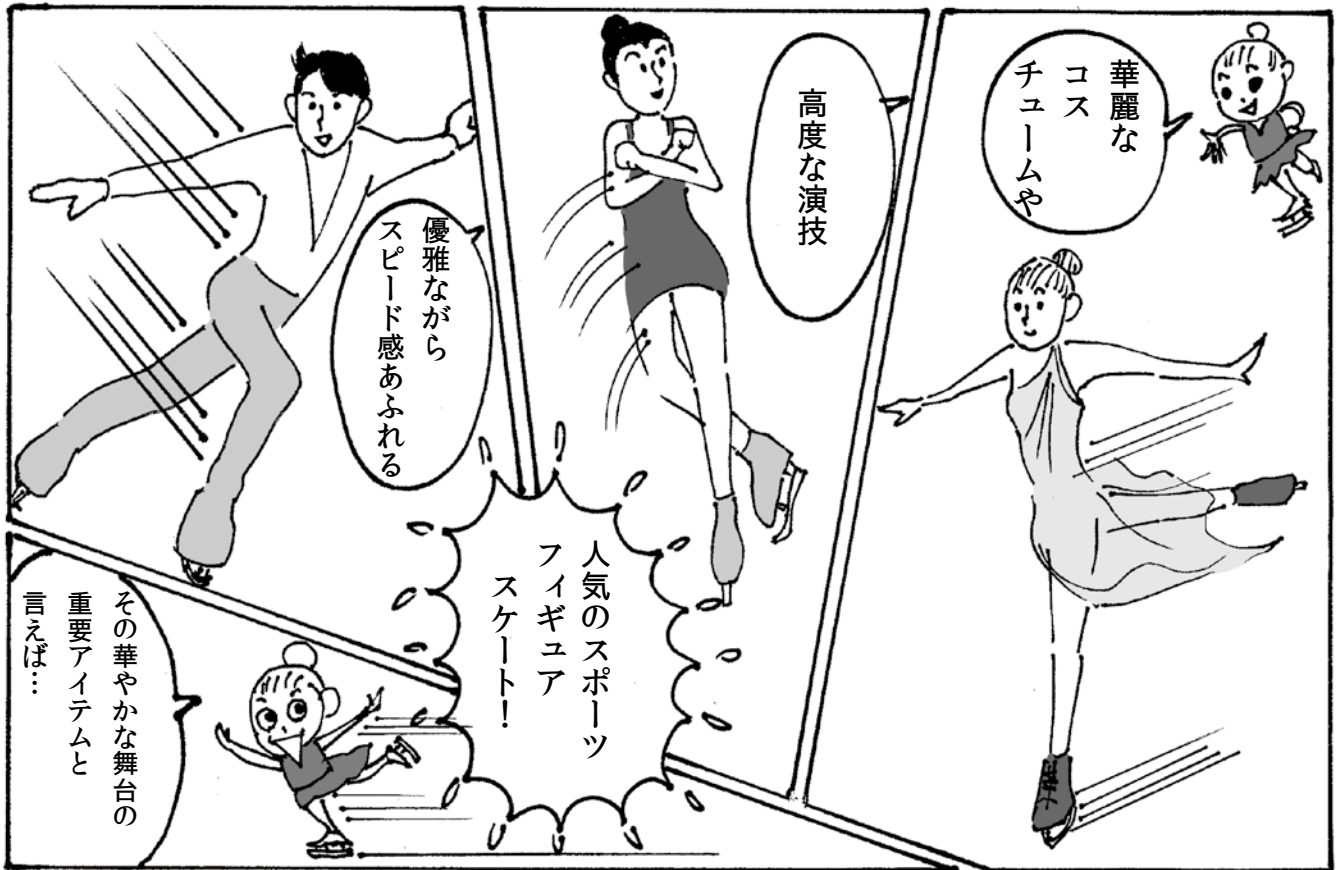


平成
18年度
認定



よしだ よしお
吉田 良雄 さん

国内外で活躍する一流フィギュアスケート選手のスケート靴を手がける、スケート靴作りのエキスパート。





選手は一年で3足くらい履きつぶすからね

手作りで年間数千足を作っているよ

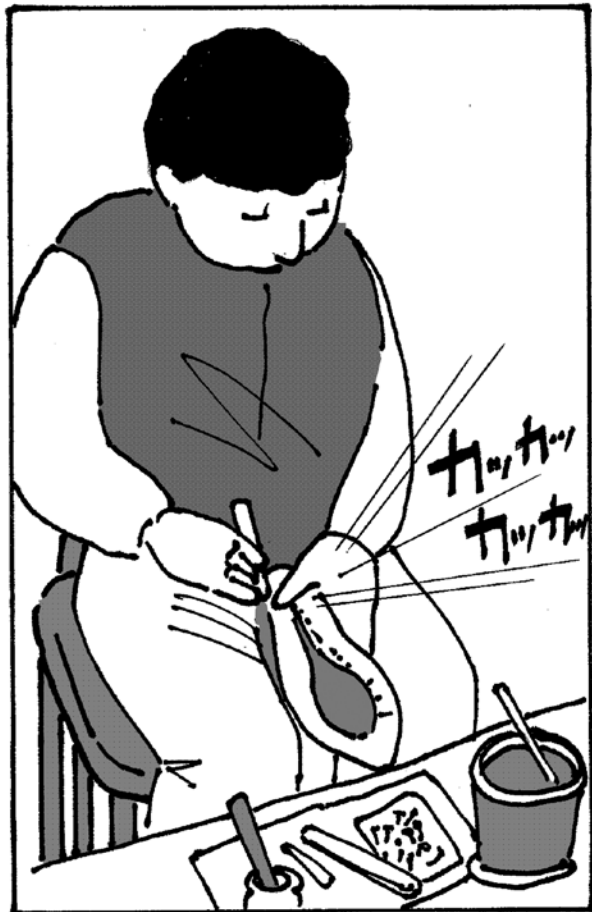


軽量化された外国製にはまねのできない

メダリストのあの選手達や

今をときめくあの選手達も過去使用していた

選手に完全にフィットした靴を製作して大好評!



カッ、カッ
カッ、カッ



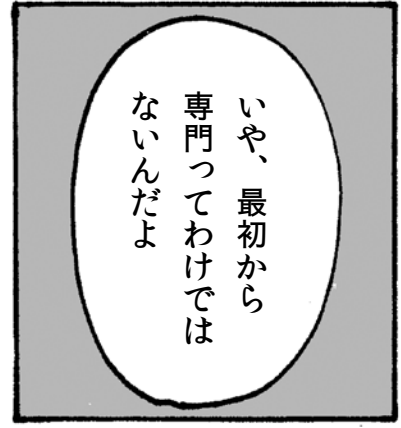
スケートシューズづくりの工程を大公開!

革は牛半頭で5足分作るんだよ

足型は左右対称では無いよ顔に似ているね

- ①革の手入れ
- ②足型を取る
- ③木型を作る
- ④紙型を作る (パーツは13~14)
- ⑤裁断
- ⑥縫製 (工業用マシンで縫い合わせる)
- ⑦底付け (本底、中底、ヒール) (ワニという道具を使って、底付けをしませ)
- ⑧金具をつける

完成!
★16時間~20時間位★



いや、最初から専門ってわけではないんだよ



良い靴は革が良いのももちろん、丁寧に正確に出来ていることが条件

同じ材料でも腕で違ってくるからね

スケートシューズ一筋の技ですね



紳士靴を始め

ハイヒール等の
婦人靴

登山靴や

野球シューズ

ありとあらゆる
靴を作ったよ

そもそも
きつかけは？



昭和28年、15歳の時
新潟の長岡から上京

親戚の靴屋が
見習いを募集しててね

最初の数年はおつかい
東京中を配達したよ

帰って来てから
夜中の12時ごろまで
ひとり練習したよ

数年してやつと色々な靴の
作り方を教えてもらえたよ

そして30歳で独立、
その頃は全国的に
スポーツが盛んでね



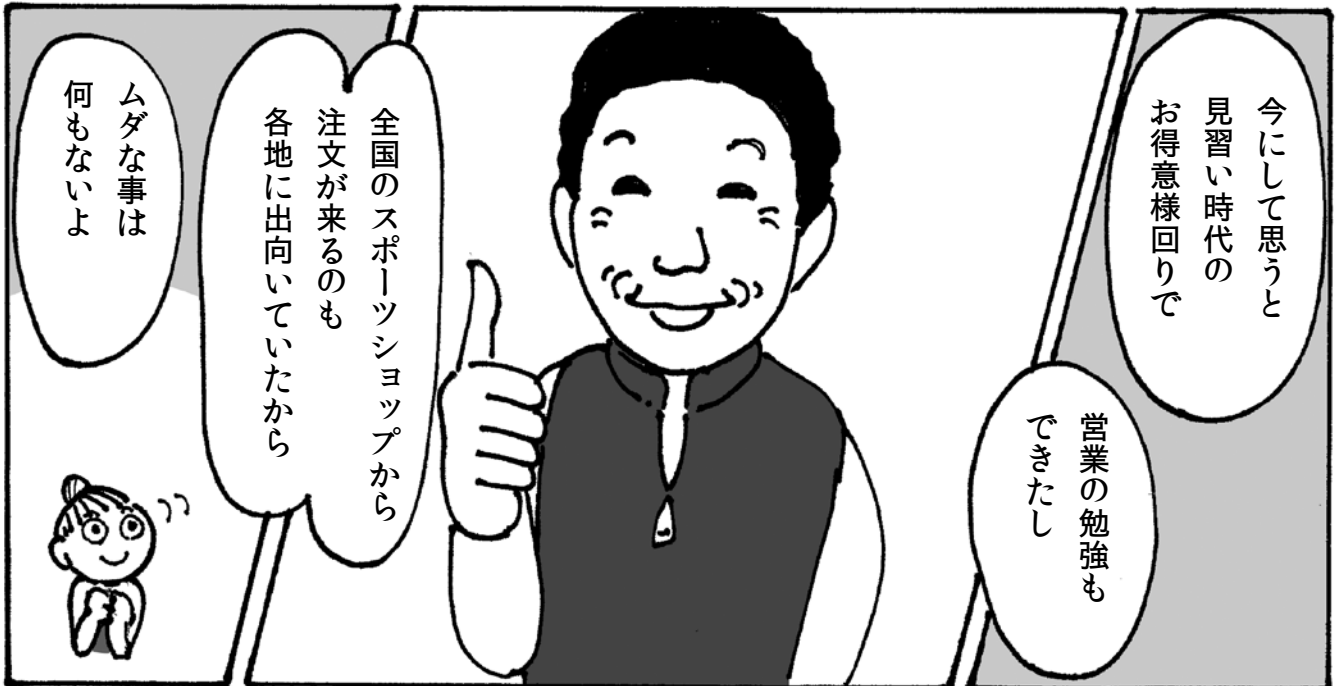
ゴルフシューズも
俺がやうに売れたよ

スケートも大ブーム



全国のスケートリンクに
靴を納めに行つたよ

金具の取り付けまで
できるから
重宝がられてね



今にして思うと
見習い時代の
お得意様回りで

営業の勉強も
できたし

全国のスポーツショップから
注文が来るのも
各地に出向いていたから

ムダな事は
何もないよ





鶴川製靴所

選手の要望を聞きながら、牛革の裁断、専用の木型作り、つま先の織り込みなど、あらゆるところに熟練の技と創意工夫を生かしています。

- 住所／川崎市麻生区岡上 111-13
- 電話／044-988-4199
- ファックス／044-988-4199
- 営業時間／午前9時～午後7時
- 休み／土曜、日曜、祝日